外国語活動 学習指導案

学校名　安芸太田町立加計小学校
指導者　Ｔ１　外国語担当　　有森　英一
　　Ｔ２　ＡＬＴ　Mari Kinoshita
　　Ｔ３　学級担任　　大前　美果

こんな授業を提案します

○児童が，どのようにして「やり取り」に必要な表現を習得していくのかイメージをつかめるように児童同士や児童と指導者の会話の場面を多く設定しました。
○やり取りが機械的な発話練習でなく，児童が意図的に選択し自分の思いを伝えられるよう Final Task や単元の設定を工夫しました。
○授業の中でどのようにしたら ALT を効果的に活用することができるのかということを意識し，ALT の活用場面をいくつか設定しました。

１　日　時　　令和元年７月３日（水）　13：50～14：35

２　学　年　　第６学年　男子７名　女子１１名　計 18 名

３　単元名　　I want to go to Italy. ～旅行代理店で働こう！　大前トラベル～
(We can!1 Unit6)

４　単元について

○　本単元は，小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説外国語活動・外国語編の「〔思考力，判断力，表現力等（３）言語活動及び言語の働きに関する事項〕ウ 話すこと[やり取り]（イ）日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを伝えたり，簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。」の内容である。具体的には，国やそれぞれの国に関して食べてみたい食べ物や行ってみたい場所などの表現を学習したり，それぞれの生活の様子や違いに気付いたりできるようになっている。そこで，副題を「～旅行代理店で働こう！　大前トラベル～」と設定し，行きたい国を尋ねたり答えたりすることを最終的なゴールにした。修学旅行で行ったキッザニアでの職業体験を生かすことができ，意欲的に学習できるようになっている。既習の“I can ～.”の表現を生かし，相手にその国でできることを“You can ～.”と紹介したり，相づちを打ちながら聞いたりするなど既習事項を生かしながら学習を進めていく。また，単元のゴールに向けて，お客さんの表現や店員さんの表現の学習を段階的に組み立てていく。それぞれの国には，見てみたいものや食べたい物，訪れたい場所があり，“visit”“see”“eat”などの新出表現も出てくる。この単元が新たな表現の獲得とともに，働くことや外国の様子に目を向けるなどキャリア面や「広島版『学びの変革』アクション・プラン」の「異文化間協働活動」の一端を担うものとなることを期待する。

○　本学級の児童は，第１学年から英語活動を行っており，外国語に触れる機会が多かった。
１学期に行ったアンケート調査では，以下のような結果であった。

No	質問	肯定的回答
1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	100
2	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	88
3	もっと英語を学びたいと思います。	81
4	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	94
5	外国語活動（英語）の授業では，英語を使う場面を考えながら活動しています。	88
6	外国語活動（英語）の授業では，日本と外国のくらしや習慣，文化などのちがいを知ることができます。	94
7	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	75
8	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，だいたいの内容が分かります。	63
9	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	94
10	英語でやり取りをする時には，会話が続くように，知っている表現を使うようにしています。	88
11	英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	75
12	英語の文字（アルファベット）を読むことができます。	88
13	英語を読む時には，単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	81
14	英語を書く時には，単語の間を空けるなど，英語の書き方のきまりを守って書いています。	75
15	英語を書く時には，単語をならべる順番を考えながら書いています。	75

全体的に外国語活動に意欲的な児童が多い。また，やり取りに対して，前向きな気持ちで取り組んでいる児童が多い。一方で，やりとりの中で，自分の考えや気持ちを伝えているという回答が低く，やりとりが単純な練習や活動に終わってしまっている実態があると言える。

○　指導に当たっては，特に下記の３点について工夫をしていきたい。

①単元ゴールや場面設定の工夫をし，児童が意欲的に取り組んだり話す必然性をもったりできるようにしたい。旅行会社で働くという場面設定をし，児童の関心や意欲を高めたい。

②やりとりの場面では，単元の終わりになるにつれて，自分が本当に行ってみたい国ややってみたいことなどを伝えるようにさせる。その際，行きたい国が思いつかないという児童もいるかもしれないが，その思いを大切にするとともに，「テレビで見たことのある国は？」などと丁寧に対応し，自分の考えや気持ちを伝えているという思いを持たせたい。

③ALT の登場場面としては，語や文の発音のお手本や練習時が多い。しかし，外国の文化や見方に触れる良い機会になるように，ALT の国における人気のある渡航先や ALT が行ったことのある国の紹介をしてもらうなど，ALT その人ならではの経験や思いが伝えられる場面を設定し，異文化交流にもつなげられるようにしたい。

5　単元目標

○　自分の思いがはっきり伝わるように，行きたい国について理由も合わせて話したり，友達の考えを積極的に聞いたりしようとする。　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○　行きたい国について尋ねたりお勧めしたい国について言ったりする表現に慣れ親しむ。　【外国語への慣れ親しみ】

○　世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。　【言語や文化に関する気付き】

6　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
自分の思いがはっきり伝わるように，行きたい国について理由も合わせて話したり，友達の考えを積極的に聞いたりしようとしている。	行きたい国について尋ねたりお勧めしたい国について言ったりする表現に慣れ親しんでいる。	世界では様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。

7　単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	旅行代理店という場面設定で，店員とお客とのロールプレイにより，行きたい国を理由を含めて話したり行きたい場所を尋ねたりする。
目指す発話例	【お客として】 客: Hello. 店:Hello.Where do you want to go? 客:I want to go to Italy. 店:Why? 客:I want to eat pizza. 店:That's good. 客:I want to see soccer games. 【店員として】 店:How about Canada? :You can see Niagara Falls. You can visit Rocky Mountains. :It's beautiful. 客:Really?Sounds good. Ok, thank you. See you.

8　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
Where do you want to go? I wanto to go to ～. I want to eat pizza.	国名　Brazil, Canada, China 等　　気持ち　delicious, fun 等 動作　visit, see, eat, go, buy, swim, play 等 飲食物 food（pizza, paeria, escalgo, ） スポーツ sport（soccer,game, baseball, basketball, 等） 観光地　世界遺産（Mont Saint-Michel, pyramid, Taj Mahal 等） 動物 animal (panda, koala, 等)

9　単元計画（全５時間）

時	目標と主な活動	評価規準 評価方法	表現例
1	◆行きたい場所を尋ねる表現を知る。 行きたい国の名前を言ったり，その国の特徴が言えたりするようになろう。 ・【Let's Watch and Think1】国の名前やその国の特徴を知る。 ・【Let's Chant】Where do you want to go?	【気】 行動観察・ 振り返りカード	・I want to go to Italy. ・Where do you want to go? ・I see./Really?/That's nice. ・It's delicious/beautiful.
2	◆理由を表す表現を知る。 ★Small Talk（できること） 行きたい国とその理由が言える。 ・【Let's Watch and Think2】理由（やりたいこと）を表す表現を知る。	【慣】 行動観察・ 振り返りカード	・I want to see big falls / eat pizza / visit Statue of Liberty. ・世界遺産 ・Foods(pizza, 餃子，パエリヤなど)
3 本時	◆ 相手におすすめの国を紹介する。 ★Small Talk（行きたい国） 【Let's Watch and Think3】店員として使用したい表現を知る。	【慣】 行動観察・ 振り返りカード	・You can eat escargots. ・You can see the Eiffel tower. ・You can visit the Mont Saint-Michel. ・You can buy …. ・I see./Really?/That's nice.
4	◆相手にすすめる表現を知る。 ★Small Talk（できること） 相手におすすめの国を紹介する。 ・【Let's Watch and Think3】店員として使用したい表現を考え，言えるようになる。	【気】 行動観察・ 振り返りカード	・You can eat escargots. ・You can see the Eiffel tower. ・You can visit the Mont Saint-Michel. ・You can buy …. ・I see./Really?/That's nice.
5	◆行きたい国をたずねたり答えたりする表現を使って，友達や先生とやり取りをする。 ★Small Talk（できること） 旅行代理店で，行きたい国を尋ねたり答えたりしよう。 ・【Let's Chant】Where do you want to go? ・旅行代理店で店員とお客さんになり，やり取りをする。	【コ】 行動観察・ 振り返りカード	A: Hello,(相手の名前). B:Hello.Where do you want to go? A:I want to go to Italy. (B:Why?) A:I want to eat pizza. B:That's good. A:I want to see a soccer game. B:How about Canada? You can see Niagara falls. You can buy visit Rocky Mountains. A:Really?Sounds good. Ok, thank you. See you. B:Thank you. See you.

１０　本時の計画

（１）　目標

相手（お客さん）に旅行先でできること（見る，訪れる，食べるなど）を伝える表現を知る。

（２）　評価規準

・お勧めしたい国でできることを伝える表現に慣れ親しんでいる。【外国語への慣れ親しみ】

（３）　準備物

デジタル教材，絵カード（世界遺産・飲食物・スポーツ・など），振り返りカード

（４）　展開（３/５）

児童の学習活動	指導者の役割			指導上の留意点等(♦) 評価(◎)
	Ｔ１	Ｔ２（ＡＬＴ）	Ｔ３	
１　挨拶をする。 ・曜日，日付，天気を言う。	How are you? C:I'm good. Oh, you are good,OK.	【活用①】 児童や先生方と挨拶を簡単にする。	How are you? C:I'm hot. Oh, you are hot,OK.	◆３人の先生が，列ごとにインタビューする。
２　復習をする。 ①【Chant】 ②Small Talk をする。 ペアを変えて３回程度行う。 テーマ：行きたい国 《児童自己選択①》		【活用②】 デモンストレーションをＴ３と行う。	ALT とデモンストレーションを行う。	◆反応する言葉を使っているペアを見つけ，みんなの前で紹介する。
３　単元のめあてを確認する。	This is today's goal.Let's read the goal together.			◆単元計画表を見ながら，これまでの学習と本時の学習内容を確認する。
旅行代理店で働く人になって，お勧めの旅行先の国でできることを紹介しよう。				
４　旅行代理店でやり取りをしよう。 ①店員さんの表現のイメージをつかむ。 ア）【Let's Watch and Think3】	デジタル教材を操作する。			◆デモンストレーションを見せ，Final Task のイメージを確認する。

Small Talk

T3: Hello, Mari.

T2: Hello,Omae sensei.

T3: I want to go to Italy.

T2:Why?

T3:I like pizza.

T2:Me too.

T3: How about you?

T2:I want to go to Australia.

T3:Why?

T2:I like koalas.

イ）指導者の例を見る。		【活用③】 ALT が出身国の紹介をする。		◆写真と共にカナダの紹介する。
	客: Hello,　　客役：Omae　店員役：Mari 店: Hello, where do you want to go? 客:(Where do you recommend?) 店:How about Canada? You can eat ●●●. :You can see　Niagara　Falls. :You can visit Rocky Mountains. 客:Really?Ok, thank you. I want to go to Canada. See you. 店:Thank you. See you.			
② 指導者と児童とで練習する。 《児童自己選択②》	指導者が 3 か所に分かれ，それぞれ異なる国を担当する。児童は，自分が紹介したいと思う国の所に行き，店員として紹介の練習をする。			◆反応言葉や目を見て話していることなどコミュニケーションにつながる部分を見つけ，場合によっては，全体へ紹介する。
③　児童同士でやり取りをする。	机間指導をし，数人をお手本として指名する。	【活用④】 机間指導で，児童の発音の確認をする。	間指導をし，数人をお手本として指名する。	◎お勧めしたい国でできることを伝える表現に慣れ親しんでいる。
④　第 5 時でお勧めしたい国を考える。 《児童自己選択③》	児童にお勧めしたい国を紹介する。	【活用⑤】 ALT がお勧めしたい国を紹介する。	児童にお勧めしたい国を紹介する。	
5　本時の活動を振り返る。 ・振り返りカードに新しい気付き，友達の良いところ等書き，発表する。		子ども達に頑張っていたことを伝える。		◆振り返りの視点を提示し，単元や本時のめあてにそって振り返るようにする。
【めざす子どもの姿】 〇お勧めの国でできることは，You can eat ~. You can see ~. You can visit ~. You can buy ~.などと聞けばよいことが分かった。 〇はじめは，分からなかったけど，友だちが教えてくれて分かった。 〇先生たちが紹介してくれた国に行ってみたい。				。
6　終わりの挨拶をする。	That's all for today.Let's finish.Today's leader please.			

11　**板書計画**

キッザニア in KAKE ～大前トラベルで働こう！～

旅行代理店で働く人になって，お勧めの旅行先の国でできることを紹介しよう。

単元計画

客役：Omae　店員役：Mari

客: Hello,

店: Hello, Where do you want to go?

客:(Where do you recommend?)

店:How about Canada?

:You can eat ●●●.

:You can see　Niagara　Falls.

:You can visit Rocky Mountains.

客:Really?Ok, thank you. I want to go to Canada. See you.

店:Thank you. See you.

You can eat ~.

写真　写真　写真

You can see~.

写真　写真　写真

You can visit~.

写真　写真　写真

Reflection

Really?

That's nice.

Me too.